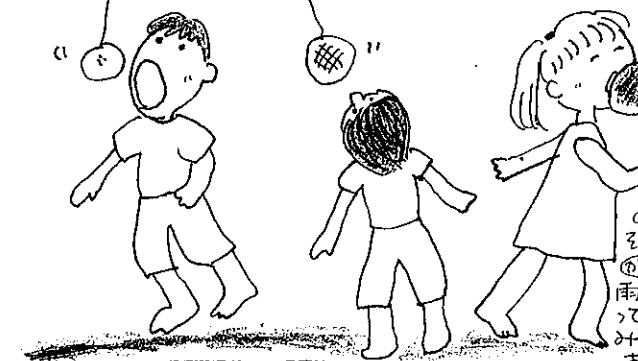
こびとのおうちえんLetter 10月号

令和2(2020)年10月5日発行　第116号



〃ヤマゴボウの実でジュースをつくるのが好きなあかりは、毎日のように自分で摘みにいき、ジュースづくり。あのあざやかなおむらさきの美しさは、とても魅力的だ。かたわらで、ゆうきとかのんが、うさぎの形のケーキをつくっていて、(手のひら)あさひも動物の形のケーキをつくってる。すごくかわいい。あこは、お料理。フライパンで何かつくっている。みらいが、いろんな種類のジュースをつくって車につんで、売り歩いてる。昨日は、「来てください」のお客だけだったけど、今日は自分から動いてる。そのがんばりがすてき。ていねいについで渡してる。るいとかおるのレストランにあかりが食べに行っている。雨がふり出した。そしたらるいとかおるが、長い板でもって頭の上にやりながら、「これがかさ。」と言きだす。みんなもこのマネして、板のかさ。雨をたのしむおもしろい景色。

長なわとびをした。あさひ、かのん、みらい、つばめ、ろくだいと。通りかかったつばめ母Aさんが、みんなのとぶ様子を見ながら、「1人1人とび方に個性がでてる。」というようなことを伝えてくれた。例えば、かのんは、「大地」を感じる。って。すてきな表現。

私の場合は、その子その子の立ちふるまいが、すべてその子自身のダンスをおどっている、というふうに思っていてリズムもメロディーも各々違っていて、あー だから おもしろいし、愛しいねぇ、と思う。

こどもたちが、今、全体としては、とても安定しているし、雰囲気も元気だ。うれしい。

でも、誰だって、いつも元気なはずもない。不安、認めてほしい、緊張、満たされない、うまくいかないはがゆさ、そんなのが見えかくれすることは多々ある。

そんなとき、その子の今をしっかり受けとめてやりたい。と思うけれど、その態度やコトバにまきこまれたり、ふりまわされたりする私もまた、多々ある。

こどもたちが背負うところを横取りしていないか？期待通りにならない子を責めていないか？ちゃんと信頼しているか？こどもと自分の問題がごちゃまぜになっていないか？くり返し問いかけられている。

あと、最近反省したのは、決めつけて見ている自分がいる。ってこと。こどもたちは予想をこえてくる！それは、うれしいことだった。決めつけると、いろんなことが見えなくなる。「場」「人」の力は、あらゆる可能性を持ってる。必要なときに必要なように自然とコトは運ばれる。

宮野嘉子

10月のスタッフプラン

・いねかり

27日(火) おべんとうの日

※おべんとうの準備をお願いします。

10月のお母さんグループ

29日(木) 13:00－15:00

場所：大野地区老人作業所

内容：フィーリング・グループ
今の自分をゆっくり味わってみましょう。

参加される方は事前にご連絡下さい。当日参加OK!とぼ

9月はこんなことしました

- 根笠川であそぶ
- 畑根で魚とり
- 山の広場であそぶ
- 川プール(9/25さいご)
- すもう
- おはぎづくり
- りしー
- マラソン
- 大星山へ行く
- 室積の海で泳ぐ
- パンくいきょうそう
- 障害物きょうそう
- 新山の広場へいく
- みんなでキッチン
- 長なわとび
- 穴ほりどろんこプール
- ヤマゴボウのジュースやさん
- 大根のたねまき

etc…

おたんじょうび おめでとう!!

28日 たてばたけ ちさちゃん (6さい)

の様子をおしらせします。

おしらせとおねがい

○来年度の入園児の募集をしています。お知り合いの方で興味のある方がいらっしゃればご紹介ください。よろしくお願いします。

○汚れた服をもってかえる袋＋ビニール袋をいつもリュックの中に入れておいてもらうとたすかります。これからは、むかご、ぐりひろい など、おさんぽでとったものをもちかえることも多いです。おうちえんには、予備のビニール袋がありません。ご協力よろしくお願いします。

よっこのちょこっとおうちえん日誌 ～日々のあれこれ～

おうちえんマラソン。3年前にコースをはかってはじまった。2年前の水害で道路が寸断され、一旦できなくなった。そして、道路の工事がおわった今年。私は、おうちえんマラソンを復活させようと思っていた。みんな走るの大好きだし、これからの季節思いきり体をうごかすにはもってこいのマラソン。走ったあとの清々しさが自分を元気にする。自分の走りを自分でこえるたのしさもある。

にしても、私もあれから2年は年をとったわけで、いざ、どこまでやれるやら…そもそも走れるのか?!でも、ま、とりあえず2年前の自分に近づこうと思うのだが…。

よし！今日からスタートしてみよう!!そんな気もちで来た日。M.M中、ともや、ろくだい、つばめたちがキッチンのとこにはってある古いマラソンの記録のタイム表を見ながら、何やら話しているではないか!!なんだかこれは、すごいタイミングかもしれない♪♪

9/23、最初に走ったメンバーは、かおる、ろくだい、つばめ、ともや、あっきー、よっこ。新しいタイム表と地図も用意した。そして、それからほぼ毎日、マラソンはつづいている。中には、一度に2本走ったり、午前に1本午後に1本なんて子もいる。タフだねぇ～。(1周1064mある。)他の子も次々参加して本領発揮している。あかり、かのんペアは全員走った。(きっとこれから走るタイミングがくるので、まだまだいいのよー。)スタッフも必然走っている！私もおとろえは感じつつ楽しんでいる。私は、小学生の頃から、マラソンが好きだった。これから秋冬にむかって満喫しよー！(もちろん走りたい子でね！)実際、こどもたちがすごく元気になるのを感じている。個のエネルギーも場のエネルギーも変化するのだ。すごいね。体がうごくと心が勝手にうごき出す。

あ、私は、マラソンが好きになる前、運動が苦手で、走るのが大キライだった。マラソンに出会って走るのが好きになった。

中2になったYが突然立ち寄ってくれた。きゃー でっかくなって!!感動の再会も「老けすぎやろ。」…が～ん。いやぁ、何年ぶりかな。それから、少し話をした。「たこじょのうた、まだ歌いよる？」CMで流れていておうちえんを思い出したそう。それから、「キャンプのとき、やきとりで串を作って焼いたよね。」とか、「つるピかだんご、まだここにおくんやね。」とブロックの穴に並べてるだんごに目を止めたり「コップ、まだこれ使いよる？変わらんね。」と言ってうめジュースのんだり。「あのとき○○だった。」と私も覚えてないことをなんだか鮮明に覚えていたりもした。卒園後にこどもたちとそんなに深く関わることはないけれど、こうして顔を見せてくれることや、その頃のことが本人の中で、何かあたたかいものとして残っていることが嬉しかった。

Yもいろいろありつつ、悩みつつ日々を送っているみたいだ。濃密なる年間を共にした者としては、とにかく応援したい。「ここに来て話すとほっとする。」とYが言ったことばは重く、私たちはそういう場でありたいし、Yの周りにもそんなんがいてくれたらなぁと願う。

Yは、持ち前の人なつこさで、初めて会う大人にもはちきれていた。彼のすてきなところだ。(9/3)

すもうにて…
「ひが～し～、ふるだいや～ま～」とか私が行司をやっていたら、かおるが「ほんとのすもうみたいだね。」で行司になったかおるは、
たちあいのとき、「みつめて、みつめて――」
2回目は、「みはって、みはって――」(9/8)